

平成 20 年 5 月 9 日

病院事業課

0742-26-7610

市立奈良病院建設基本構想について

現在の市立奈良病院は、病棟が昭和 4 2 年 3 月、外来診療棟は昭和 4 3 年 6 月の建設で、老朽化し耐震基準・医療法構造設備基準・療養環境・医療水準の向上等に関し、施設・設備面で多くの課題を抱えています。

昨年 7 月に「市立奈良病院運営市民会議」から市長に提出された「市立奈良病院運営市民会議報告書～市立奈良病院の将来について～」では、病院の建替えが急務とされ、めざすべき方向も示されましたので、その意見等に基づき市立奈良病院が今後担っていくべき役割や、そのために必要な施設内容等を明確にするため「市立奈良病院建設基本構想」を策定いたしました。

1. 施設名称 市立奈良病院（開院日：平成 1 6 年 1 2 月 1 日）
2. 指定管理者 （社）地域医療振興協会（管理者：中島俊一）
3. 住所 奈良市東紀寺町一丁目 5 0 番 1 号
4. 建設計画の基本方針

今後の市立奈良病院の目指すべき医療（特に「救急医療」「小児科」「産婦人科」「地域連携」「がん医療」を中心に充実を図る。）と市民の多様な医療ニーズに対応し、限られた敷地の中で効率的・機能的な施設整備を進め、市民の安全安心を支える信頼される病院としての役割を十分果たせるような建設計画とする。

5. 新病院の建物規模

- (1) 敷地面積 : 約 2 2 , 6 5 5 . 8 9 m²
- (2) 延べ床面積 : 約 2 5 , 5 0 0 m²（既存施設含まず）
- (3) 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造
: 免震構造・耐震構造
- (4) 階数 : 地上 5 階・地下 1 階

6. 新病院の整備条件

- (1) 病床規模 : 一般病床 3 5 0 床
- (2) 診療科目 : 標榜 1 7 診療科を基本にセンター化構想も進めます。

内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科・・・17診療科
(総合診療科、病理科、乳腺センター、甲状腺センター)

7. スケジュール

別紙のように予定しています。

